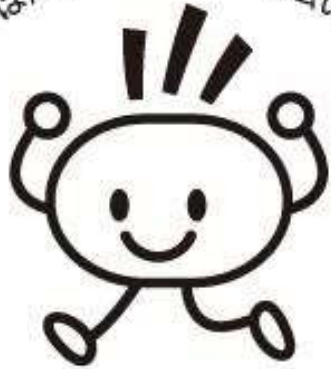


制度改革を踏まえた就労先確保の在り方

“はたらきたい”のお手伝い。



岩原あゆみ

目黒障害者就労支援センター 施設長

目黒障害者就労支援センター就労者件数

※令和5年5月末現在

就労者数			
一般	短時間		計
週30H以上	週20～29H	週20H未満	
209	36	10	255名 / 利用者総数 323名

68名が未就労

<週20H未満の方の状況>

- 本人もしくは企業の事情により一時的に20H未満だが、今後20H以上に引き上げる予定
- 当初は20H以上で働いていたが、体力面等の低下から時間数を減らした。
- 入社当初から障害者雇用の算定を必要としない企業で就労している。(クローズ就労を含む)

【内訳】

知的(軽度) : 3名

精神 : 7名

目黒障害者就労支援センター未就労者の状況

【68名の未就労の理由】

- ・希望の障害者枠求人がない（勤務時間、職種、勤務地、職場環境など）
- ・療養期間中
- ・職業訓練期間中

※68名のうち、就労系障害福祉サービス（定着支援は除く）を利用している方：10名

- 週10時間以上週20時間未満の短時間労働者の実雇用率算定
- 一般就労中の就労系障害福祉サービスの一時的な利用

などの制度改正が、今後の障害者の就労促進に結びつくと考えられる。

就労継続支援B型事業所を一時的利用しながら 就労継続されているケース 1



Aさん

60代 愛の手帳所持

H7：就労継続支援B型事業所 通所

R2：センター利用登録

B型とセンターで連携しながら就活支援開始

R2.10月：X株式会社 入社 一般就労25年ぶり

- 週4×5時間
- B型利用継続

R3.3月：B型利用終了（入社から6か月後）

R5現在：就労継続中

【一時的B型利用の目的】不安の緩和、日々の体調確認など

就労継続支援B型事業所を一時的利用しながら 就労継続されているケース2



Bさん

40代 身体手帳所持

H29：センター利用登録 → H30：就労 → R2：離職

R3.1月：就労継続支援B型事業所 通所

B型とセンターで連携しながら就活支援開始

R3.12月：Y株式会社 入社

- B型利用継続
- 入社後2か月：週3×5時間 B型週2日
- 入社後3か月～5か月：週4×5時間 B型週1日
- 入社後6か月～：週5×6時間 B型利用終了

R5現在：就労継続中

【一時的B型利用の目的】 週5を目指すための体力作り、日々の体調確認など

就労継続支援B型事業所と就労支援センターの連携について

<それぞれの役割>

【B型事業所】

生活リズムの安定

体調確認

利用継続への安心感 等

本人支援

【就労支援センター】

一般就労に向けた支援全般

(求人情報の提供、書類作成及び添削、面接練習

・同行、実習対応、ジョブコーチ、定着支援等)

本人&企業支援

<一般就労に向けた支援全般を就労支援センターが行う経緯>

現状、多くのB型では一般就労に向けた支援ノウハウが十分に備わっていないため

(職業指導員の配置はあるが、就労支援員は配置されていない)

制度改革を有効活用し、就労促進に結び付けるために

- ・制度改革内容のわかりやすい周知
- ・就労支援に携わる人材の育成（おもに就労継続支援事業所）
- ・事業主支援の強化

就労促進、そして柔軟な働き方の実現を目指して

- ・重度ではない身体・知的障害者の20h未満雇用や10h未満雇用の働き方
- ・雇用から福祉へのソフトランディングなど、ライフステージを意識した働き方
（生活支援の重要性）